



発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシティビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成19年 1 月号
No.188

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

春の統一地方選、世代交代に入る 大幅に若返った自民党候補者



早くも本番に備える陣営

ともない、
府会、京都
市会とも思
いきって
二〇、三〇
代の若い候
補者を公認
した。今
回の選挙
は、戦後生
まれの総裁
の下、新旧
交代、世代
交代の選挙
となりそう
だ。

今年4月に統一地方選挙、7月に参議院選挙が行われる。安倍政権下での初の本格的な大型選挙である。この二つの選挙結果は安倍政権の命運がかかっている。有権者がどんな判断を下すか注目される。いざなぎ景気を越えたとは言え、一般国民には実感が無い。むしろ、年金・医療・税の面で厳しさが増しており、不満が膨らんでいるのが現実である。しかも、地方分権と叫んでいても、東京一極集中が益々加速され、東京の一人勝ちの様相を呈し、東京と地方の格差は広がるばかりである。地方の経済状況は深刻であり、どうやって地域を再生するのか、妙案もなく困り果てているのが実情である。不満は相当高まっていると思われる。自民党にとって決して楽な戦いではない。前哨戦の統一地方選挙は、地元京都府、京都市の発展のためにも自民党が堂々と第一党の立場を堅持しなければならない。自民党は今回、ベテラン議員の勇退に

安倍政権下初の大型選挙

二ノ湯しんじ事務所開き

1月21日(日) 午前11時

来る4月8日に執行される統一地方選挙で、京都府議会議員(右京区)に自民党より公認を受けた二ノ湯しんじ君の事務所が完成しました。下記の通り、事務所開きを行ないますので、激励かたがたご出席下さいませようご案内申し上げます。

と き・1月21日(日曜日) 午前11時

ところ・右京区太秦多藪町44-1

でんわ・075 (862) 1355

〔事務連絡〕



参議院議員
二ノ湯とし 後援会会長 森 春生
二之湯 智
後援会役員一同

新年明けましておめでとうございます
皆様にはお健やかに新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。旧年中は二ノ湯智の政治活動をお支えいただき誠に有難うございました。一昨年の郵政民営化法案の反対による党本部の処分も昨年十月末に解除されました。本年は心機一転、心新たに頑張つてまいる覚悟です。何卒宜しくご指導の程お願い申し上げます。今年も皆様にとって健康で、幸運い年であることを心よりお祈り申し上げます。
平成十九年一月吉日

二ノ湯議員、戦後処理問題で質問

舞鶴引揚記念館の拡充強化を訴える



独立行政法人平和祈念事業特別基金の廃止に関する法案を審議していた参議院総務委員会は、12月14日参考人として元高和男氏(軍人軍属恩給欠格者全国連盟長崎県連合会長)と有光健氏(全国抑留者補償協議会参与)

の二人を招き、参考人質疑を行なった後採決し、賛成多数で法案を可決した。二ノ湯議員は二人の参考人に質問、平和事業特別基金が解散されたら、特別基金が行っている事業を舞鶴市の引揚記念館に引き継いで貰うのがいいのではないか、基金の一部を舞鶴市の引揚記念館の施設拡充、中身の充実に使ったかどうかと提案した。質疑の要旨は次の通りである。

☆二ノ湯議員…戦後62年たち、関係者の高齢化を考慮して、戦後処理の解決が求められています。戦後強制抑留者及び海外からの引揚者、恩給欠格者の問題につき、最終決着を図るために平和祈念事業特別基金の廃止法案が今提案されています。しかし、シベリアに抑留され、亡くなった方々の名簿の整理、遺骨収集も完全に終わっておりません。元島さんは戦後ずっと恩給欠格者のために陳情をされてこられました。成果が上がらず残念な気持ちで亡くなった方々もごさいます。またシベリアの地で不遇の死を遂げられた同胞の皆さん方もごさいます。戦友たちに対して、今どんな思いを持っておられますか。

元島参考人…私もシベリア抑留の一人で、誠に非人道的なソ連のやり方に怒りを覚えます。八月九日、一方的に日ソ中立条約を破棄し、怒濤のごとく満州になだれ込み、六十万以上の方々をシベリアに連れてきて強制労働をさせ、五万四千人の方々も亡くなっておられます。にもかかわらず、ソ連は労働賃金を一円も払わず、何と非人道的であろうかと怒りを覚える者の一人でございます。お国のために一生懸命一身を捧げながら、年数が足りないという事で何の恩典も受けない百万以上の人たちもおり、恩欠問題のお世話をすることになったわけでございます。しかし、恩欠者の皆さん方が、ビルマ、南方の島々、フィリピンにおいて我々以上の苦しみを味わっておられることを耳にして、涙で語る以外には道のないことも知りませんでした。シベリアだけが苦しいと思っておいたら、こんなにも南方各地で苦勞なされたのかと思います。ときに、何としても恩欠者、抑留者の皆さん方にも最後の国の恩典を与えていただきたいと考えております。

☆二ノ湯議員…現在、平和祈念事業特別基金では、慰藉事業の一環として関係者の労苦に対する国民の理解を深める事業を実施され、資料の収集及び展示、記録の作成、催物、調査研究などを行っておられます。基金解散後も是非これらの事業をやるべきだと思います。特に、シベリア抑留者の九割近くが上陸した京都府の舞鶴市では昭和63年に引揚記念館を開設し、毎年約十五万人近い方々が会館を訪れています。舞鶴市では、強制抑留や引揚げ体験者の労苦を語り継ぐ事業、資料収集、展示事業などを既に行っています。基金の解散に際して資本金の一部を配分し、積極的に取り組んでいる地方自治体に基金事業を継続してやってもらいたいと思っております。

有光参考人…二ノ湯先生の方からの提案に、私も全く賛成です。舞鶴の引揚記念館、あそこは建てる時に、シベリアからの引揚者、歌手の三波春夫さんが全国でチャリティーコンサートをやって三千万ほど集めて建てたわけ

でございます。現在も、年間で十五万という、新宿の平和祈念事業特別基金の資料室よりはるかにたくさんの方が全国から見えておられます。ご承知の通り、地方は大変財政難ですが、国からは一銭も実に入ってございません。あそここの記念館は、展示スペースも非常に手狭になっておりまして、例えば、語り部の方の話を聞くようなセミナー室とか会議室もないわけでございます。学芸員も置いておりませんで、資料が十分にまだ整理ができおりません。是非これは平和祈念事業特別基金、あるいはそれが廃止された後は総務省なりしかるべく政府の方からきちっとした形での支援が絶対に必要であると私もまた強く感じております。

☆二ノ湯議員…南方からの引揚者が、わずかな日当ではあっても、日当プラス抑留日数で政府から補償金が支払われた。シベリア抑留者には一銭の補償金もないことに對し、政府の対応が冷たいのではないか、それについて最後にお聞かせいただきたい。

元島参考人…国が昭和28年に軍人恩給を復活させ、命懸けで戦った人たちに差を付けたこと自体に激しい憤りを感じます。年数はいかんであるとしても、自分の身を捧げ、いつ敵弾に倒れるか分からない、本当に戦々恐々とした気持ちには年数の問題ではありません。それだけに、軍人恩給をもらっている方々に対して恩欠者の百万に上る人たちがどんなつらい思いをして過ごしてきたででありましょうか。その格差をなくするために陳情を繰り返してきました。お国のために尽くした人々をそのまま扱いにされるならば今後日本はしっぺ返しを受けますよ。だれが国を愛しよう、国のために命をささげようという者がおりましようか。残念ながら、内閣総理大臣の書状と銀杯程度しかもらえない。内地勤務者に至っては内閣総理大臣の書状のみのやり方に、我々の仲間は残念無念と国を恨みながらこの世を去っていききました。本当に申し訳ない気持ち一杯でございます。

参議院議員有志、尖閣・東シナ海視察 日中中間線の厳しさを体験

東シナ海の日中中間線付近での中国の露骨な資源獲得は、日中間に深刻な陰を落としている。加えて、中国は日本の固有の領土である尖閣諸島を中国の一部であると領有権を主張し始め、日中間の新たな紛争となっている。海上自衛隊は毎日P-3Cを飛ばして上空から東シナ海、尖閣諸島の状況把握している。

年末、防衛省大臣政務官の北川イツセイ(大阪選挙区)氏が呼びかけ人となり、参議院の同期生の有志が、両問題に対する理解を深めるために、現地視察を実施した。当初、25日に10人が行く予定であったが、現地の天候が不良のため26日に順延、結局4人の参加となった。後の三人は小泉昭男(神奈川県選挙区)、末松信介(兵庫選挙区)、そして二ノ湯議員。四人は那覇空港に集合、航空自衛隊南西航空混成団で沖縄地区自衛隊の概要について説明を聞いた後、海上自衛隊那覇地区へ移動、飛行前の説明を受け、P-3C哨戒機に乗り込んだ。この飛行機は四つのエンジンを搭載したプロペラ機。時速約600km、航続距離は13時間可能である。一時間程で東シナ海のある田の一つ、八角亭が見えてきた。続いて平湖、天外天、春曉と順番に回った。春曉以外の油井からは

炎が上がっており、ガスを生産しているのが窺える。中国は平成10年11月から生産しており、日本は日中中間線での採掘はガス構造が日本側に連続しているために資源が吸い取られると中国に抗議をしているが、日本側も素早く行動に移さないので中国の採掘を傍観しているだけである。ここから又、一時間ほど掛けて尖閣諸島へ。久場島がはるか前方に見えてきた。続いて一番大きな島である魚釣島。ここは明治時代に日本人が鯨節を生産しており、24人も住んでいたとのこと。よく見ると人が住んでいた跡形もあるし、日本人が建設した灯台もある。最後に一番南の島、大正島を見た。これらの島々の周辺を海上保安庁の巡視船が24時間体制で監視している。日中中間線の厳しい現実をつぶさに見て、改めて日本の安全、安心のために第一線で働いている自衛隊員の苦勞に頭の下がる思いで、百聞は一見に如かずの言葉通りであった。



P-3C前での視察団一行

教育基本法の改正成る

両院で合計190時間を超す審議

安倍内閣の最も重要な法案である教育基本法の改正案が成立した。今日の荒廃した教育の現状を考へるとき教育改革の障害となつてきている教育基本法を現行の社会情勢に合う形で改正するのは至極当然のことである。教育への国家権力の介入、愛国心の強要、国歌・国旗への強制等々を理由に野党は反対の姿勢を見せていた。さらに国会での審議の最中、いじめが原因による自殺、高校の世界史の未履修、タウンミーティングでのやらせ質問などが問題になった。そのため、民主党は審議時間が足りない、もっと審議を尽くすべきだと主張していたが、正直なところ与野党とも後半になると質問内

京北で二ノ湯議員の国政報告会

荻原健司氏が日本の教育を語る

12月21日、二ノ湯参議院議員の国政報告会が京北で開かれ、二ノ湯氏の国政報告の後、府会(右京選挙区)の自民党公認予定候補者・二ノ湯しんじ君が京都府政への抱負を語った。続いて、講師の荻原健司氏が演壇に立った。荻原氏はオリンピックノルディック複合団体戦で2連覇の成績を達成した。平成16年の参議院選挙に全国比例区で当選し、二ノ湯議員とは同期で、教育問題やスポーツ振興等に熱心に活動をしている。二ノ湯しんじ君が父親の秘書をしていた時、懇意にして貰ったという縁で、講演が実現した。

荻原氏は外国での競技生活の経験から、一流の選手は嫉が出来る、いい家庭から

容が重なり、答弁する大臣もうんざりの様子で、午後に入ると委員会室も空席が目立つた。民主党も日教組出身議員に気兼ねする態度を示していたが、最後には大した抵抗も、混乱もなく改正案が成立した事は日本の将来の教育にとつて大変良かった。しかし、この改正案の効果が実際に現れるは数十年先のことであり、



空席が目立つ教育特別委員会

立派な人間が育つ。従って、子どもの成長にとつて家庭教育が重要であると強調した。現在の日本におけるスポーツ界の低迷について、学校にクラブ活動に熱心な先生が少ないこと、企業がリストラによって運動部を廃止していることに大きな原因があると指摘した。



教育について熱く語る荻原氏

第167回 みんなで歩こう湯歩会

- ・日 時：1月28日(日) (小雨決行)
- ・出発時刻：午前9時(時間厳守)
- ・集合場所：地下鉄丸太町駅1番出口(烏丸丸太町北東角)
- ・コース：京都御所内(厳島神社→宗像神社→白雲神社)→護王神社→白峯神社→一条戻り橋→清明神社→葎屋町通→丸太町通→二条城・北西沿い→神泉苑(解散)
- ・今年最初の歩こう会です。本年の干支の猪とゆかりが深く、足・腰の健脚の祈り神とも知られる護王神社など、七福神社の初詣です。新しくこのチャンス(機会)に初参加も歓迎、多くの方々もお待ちしております。
- ・代表世話人 北村好司郎 ☎075-313-8758 (当日)090-1956-7460

歩くことは 健康の基本

第166回 みんなで歩こう湯歩会(参加者85名)



サントリー京都ビール工場にて



謝辞を述べる二ノ湯議員

なご事務所の所在地は京丹後市大宮町周
積一九七五 電話0772(68)0864

盛会裏に終了した。
では、アトラクションの野田川太鼓が鳴り響いた後、井上正嗣宮津市長の祝辞、小牧誠一郎元府議会議長が乾杯の音頭をとった。懇親会は終始和やかな雰囲気の内、盛会裏に終了した。

二ノ湯議員、 丹後事務所開設 丹後地域の活動拠点が始動

12月16日、京丹後市の国民年金健康センター「おおみや」において、二ノ湯さと丹後事務所開きが、宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町から、自治体関係者、議員、党役員ら14名が出席し盛大に行なわれた。記念式典では、まず在田芳弘事務所長から事務所開設までの経過説明が行われ、中山泰京丹後市長、田中英世、多賀久雄、巽昭各府議会議員の来賓祝辞に続き、二ノ湯議員が謝辞を述べた。その後、二ノ湯議員と親交の深い、西陣織工業組合理事長渡辺隆夫氏の記念講演が行なわれた。懇親会

身辺雑記

一、北京での6カ国会議は予想通り、実質的話し合いもないまま終わった。我が国の最大の関心事である拉致、核廃棄問題の協議も来年に持ち越しとなった。一日も早い解決を待ち望んでいる日本人のイライラは募るばかりである。

一、政府税制調査会長であった本間正明氏が、公務員宿舎への不適切な入居問題の責任をとって辞任した。国民に税金の負担を求め、私を峻別することが必要である。

一、高校駅伝は京都の大きな年末の行事。しかし高校スポーツは教育の一環なのか、それとも勝つための戦いか。男子の部で先頭を走った四人のランナーは全部外国人選手。国際化時代とは言え、少し行き過ぎではないのか。

一、年末、恒例の消防団の激励訪問をし、団員の方々とよく話をした。今までなかったことだが、団員から最近の政治に対する批判が多く出た。それだけ世の中、生活が厳しくなってきたことの現われか。

一、肥満は健康にとって最大の敵。11月中旬から、一念発起して腹八分目、酒を出来るだけ控えるようにしたら、五キロ減量出来た。お蔭で昨年末に行なった人間ドッグの数値は全て良好であった。

一、正月元旦に宮中での「新年祝賀の儀」に参列した。緊張感が漲る中、天皇后両陛下始め、皇族方がご入場になり、天皇陛

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。
毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、
ぜひお申し込み下さい
年間購読料 1200円
郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —
二ノ湯さとし事務所
電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました
<http://www.ninoyusatoshi.com>

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。
是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所 ☎075-315-2228

下が、「国民の幸せを願い、国家の発展を祈ります」と述べられた。正に政治の目的もそこにある。今年も精一杯頑張りたい。
一、「えとす」も昨年末で187号となった。市会議員時代から15年間以上、継続して発行していることになる。そのことを自民党本部の会合で話をしたら、出席していた多くの議員が吃驚していた。200号に向けて今年も頑張りたい。